

## ■伊勢

歌人。「理想の女房」といわれ、優れた作品を遺し、「伊勢集」は女流私家集・日記文学の嚆矢となった。

いせ

藤原良房役・872= この頃、藤原北家流大和守従五位上藤原継蔭の娘に生まれる。父が前伊勢守であったので伊勢と呼ぶ。

・・・・・・ 881= 9歳 :

宇多天皇即位 887=15歳 :

関白始・・・・ 888=16歳 : この年、入内して、宇多天皇の女御となった藤原基経の娘温子(七条后宮)に出仕。

和歌、書、箏を能くする当代抜群の才女で、

基経関白辞任 890=18歳 : この年、七条后宮温子が均子内親王を出産。この頃、藤原仲平との恋愛が始まも、

道真蔵人頭・ 891=19歳 : 破綻。痛みを癒すべく、一時父の赴任地大和に。この前後、母も死去して、精神的に成長。

この間、藤原時平からも歌が贈られ、温子からも催促されるように、多くの公卿文人から愛され、

・・・・・・ 893=21歳 : \*寛平御時后宮歌合に出詠

やがて宇多天皇の寵愛を受け、

・・・・・・ 896=24歳 : この頃、ついに、宇多天皇の皇子を出産。

宇多上皇・・・・ 897=25歳 : この年、譲位した宇多天皇は温子の御殿亭子院で暮らし始める。

・・・・・・ 898=26歳 : 植物栽培も趣味にしており、亭子院女郎花合に参加。

道真右大臣・ 899=27歳 : この年、宇多上皇が出家。

菅原道真左遷 901=29歳 :

古今和歌集・ 905=33歳 : 宇多院物名歌合に出詠。

唐滅亡・・・・ 907=35歳 : 温子の死去に衝撃受け、喪に際して長歌を読む。以後、温子の娘均子内親王に仕え、

・・・・・・ 908=36歳 :

藤原時平死・ 909=37歳 : 宇多法皇との間の皇子が夭折。内親王が敦慶親王の妃となるも、

・・・・・・ 910=38歳 : 早世すると、敦慶親王から寵愛を受け、

・・・・・・ 912=40歳 : この頃、中務(親王が中務卿であったところからの呼び名で、のちやはり一流歌人になる)を出産。

・・・・・・ 913=41歳 : 仮名日記を書く。\*亭子院歌合の紅一点になって巻頭を飾ったのははじめ、

・・・・・・ 917=45歳 :

・・・・・・ 921=49歳 : 春日歌合せに出詠。

道真本官復位 923=51歳 : 娘中務を連れて、白川の藤原忠平邸を訪問。娘中務が慶頼王のもとに出仕。

・・・・・・ 924=52歳 : この年、敦慶親王が式部卿に転任。

渤海滅亡・・・・ 926=54歳 : \*宇多法皇六十賀の屏風歌を詠み、

忠平摂政復活 930=58歳 : 敦慶親王が死去し、哀傷歌。娘中務の愛人源信明へ贈る歌も。

宇多上皇没・ 931=59歳 : 宇多法皇が死去。

・・・・・・ 933=61歳 : 康子内親王(醍醐天皇皇女)の裳着に尚侍貴子(忠平女)が贈る屏風歌に、娘の中務とともに詠歌。

・・・・・・ 934=62歳 : 穩子(朱雀天皇母后)五十賀の屏風歌に詠進。

承平天慶乱始 935=63歳 :

・・・・・・ 937=65歳 : 陽成院七十賀に屏風歌詠進などし続けて、

空也念仏始・ 938=66歳 : \*勤子内親王(醍醐天皇皇女)の死の弔問贈答歌を最後に、家集「伊勢集」2巻を遺して、まもなく、

平将門新皇・ 939=67歳 : この頃、没したらしい。

「伊勢集」は女流私家集の嚆矢であるばかりか、冒頭部分に物語風の自伝的叙述があつて、後の女流日記文学の先駆的作品とも目される。後世、順徳天皇「八雲御抄」、藤原俊成「古来風体抄」、藤原定家「詠歌大概」などでも、優れた歌人として評価されている。